

「特別の教科 道徳」学習指導略案

第5学年2組 28 名
指導者 新宮領 美貴

1. 主題名「夢に向かって」 A-5 希望と勇気、努力と強い意志
2. 資料名「ミッキーマウスの誕生」(出典:Gakken「みんなの道徳⑤」)
3. ねらい
ディズニーが困難なことがあっても前向きに努力し続けた訳を考えることを通して、夢や希望をもち続けることの大切さについて気づき、信じたことに希望をもってくじけずに努力しようとする心情を育てる。
4. 展開

時間	学習活動(○発問、☆中心発問)と児童の反応(・)	◇指導上の留意点 ◆評価の視点
導入 5分	1 オズワルドの動画を見る。 2 アンケート結果を知る。	◇ミッキーマウスが生まれる前に、ウォルトディズニーが作ったキャラクターだということを説明する。 ◇ディズニーにも夢があったように、様々な夢をもった友達がいることをアンケートで確認する。
展開 35分	3 「ミッキーマウスの誕生」を読んで感じたことを話し合い、道徳的価値の大切さを考える。 ○オズワルドが使えなくなって新しい人気者を作らなければならなくなったとき、ディズニーはどんな気持ちだったのいでしょう。か。 ・どうしよう。・悔しい。・しょうがない。 ・自分が作ったキャラクターなのに。 ☆自信満々で発表したミッキーマウスがさっぱり売れませんでした。自分だったらここであきらめますか。あきらめずに描き続けますか。 【諦める】 ・もう2回目の失敗だしあきらめる。 ・売れないとお金がもらえない。 ・自分には向いていなかった。 【諦めない】 ・自分の絵で世界中の人を笑顔にするという夢がある。 ・ここであきらめたら今までの努力が水の泡だ。 ・次はうまくいくかもしれない。 ・絵を描くことが好きだからあきらめたくない。 ○どうしてディズニーは困難なことがあっても前向きに努力し続けることができたのでしょうか。 ・夢があったから。 ・絵を描くことが好きだったから。 ・妻や仲間の支えがあったから。 ・失敗したときの悔しさをばねにできたから。	◇自分が生み出したキャラクターが使えなくなった悲しみ、悔しさに共感させる。 ◇2度目の困難に直面し、苦しみながらも新たな道を模索するディズニーの気持ちに共感させる。 ◇希望やきれいごとばかりではないディズニーの気持ちに気付かせる。 ◇心のものさしを使って自分のこととして考えられるようにする。
	4 自分の生活を振り返る ○夢を実現させるにはどのような心が大切だと思いますか。今日の学習から感じたことを書きましょう。 ・困難にぶつかってもあきらめないこと。 ・失敗した悔しさをばねにできるような心の強さをもつこと。 ・次はうまくいくかもしれないと自分を信じること。	◆より高い目標を立て、希望をもってくじけずに努力しようとするものの大切さを知り、自分の生き方について考えを深めていたか。 (発言・ワークシート・観察)
終末 5分	5 ディズニーの名言を紹介する。	◇困難なことがあっても信じたことに希望をもってくじけずに努力しようという意欲がもてるように、余韻をもって終わる。

